

週刊

うたごえ新聞

1/6・13

<新年号>

NO. 541 (1975年)

THE SINGING VOICE OF JAPAN

日本のうたごえ全国協議会機関紙
発行 うたごえ新聞社 東京都新宿区西大久保3-60
電話 03(209)0638~9 振替口座 東京5631
昭和34年1月31日第三種郵便物認可
毎週月曜日発行 月250円(一部260円)



「若者たち」の山本圭さん

「若者たち」「戦争と人間」の意味では恵まれていた。しかし、僕の仕事は体を見せることで成り立つもので、芸術のジャンルでも特殊だ。体のおとろえと共に仕事もおとろえてくるんだけど、自分のおとろえが他人の目をも通って感じるのには一番厳しいことだ。僕の場合は、年令的なものと、劇の中のいままでの印象との関連からむしろ新しい時期に来ている。」

演劇界に生きる人の厳しさと同時に、「これからの日本人の性を変えて感ぜさせられたい」として今でもあの映画が上映されているんです。そのことは嬉しいことだけど、遊んで言えば、あの仕事以上の作品がまだ作られてないというところですね。」

演劇界へはいつからというものは、ゆっくると正月をすぎすことができたという喜びと、静かな「正月と喜んでいます。」

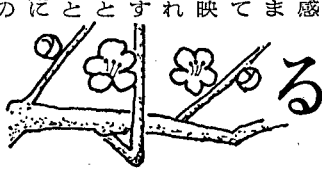
「これからも人間性を追求する作品をつくらせていきたい」という結んだ言葉とまなざしが印象的でした。



新春インタビュー 竹のような人に

生活の中に、いい意味での遊び、余裕が持てるのが大切だね。国民性というものはなく、経済的なところからくるものですが、それからステップアップの離れが言っていたら、竹のようにしなやかに強い生き方というのが素晴らしいですね」とも話していました。

新春特集号 (12頁建)	
新年コンサート紹介／うたは闘いととも	2 面
民謡の里を訪ねて「わらべ唄」／いずみ・たく物語	3 面
新春テレビ・ラジオ番組	4・5 面
冬の旅に出かけよう (北海道・東北・北陸のサークルと名所)	6・7 面
詰将棋・詰碁・もち料理・新春コント	8 面
'74祭典合唱発表会総評／音楽人の昭和50年	9 面
石子順の正月映画案内	10 面
大空ヒットの新春万才「入れかえ」	11 面
アイドルさん／随想「雪うさぎ」 杉本 苑子	12 面
通信／はらたいら「ゲバゲバ放談」／方針と祭典	
新春訪問記「山口百恵嬢」 創作曲・紹介曲	



一九七五年、七〇年代も後半にはいった。いろいろな希望を持ち新しい年に挑む若者、可能性を現実とする喜びが充ちる年となるか